

様式第 8

平成 2 3 年度循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
東胆振地域	苫小牧市、安平町、厚真町	平成17年度から平成22年度	平成17年度から平成22年度

1 目標達成状況
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (平成16年度)	目標 (割合※1) (平成23年度) A	実績 (割合※1) (平成23年度) B	実績B /目標A	
排出量	事業系 総排出量	43,471 t	37,963 t (-13 %)	28,103 t (-35 %)	-26.0 %
	1事業所あたりの排出量	4.27 t	3.72 t (-13 %)	3.15 t (-26 %)	-15 %
	家庭系 総排出量	50,980 t	48,618 t (-4.6 %)	47,122 t (-7.6 %)	-3.1 %
	1事業所あたりの排出量	254 kg/人	218 kg/人 (-14 %)	222 kg/人 (-13 %)	1.8 %
合 計 事業系家庭系総排出量合計	94,451 t	86,581 t (-8.3 %)	75,225 t (-20 %)	-13 %	
再生利用量	直接資源化量	2,960 t(3.1 %)	6,910 t (8.0 %)	8,862 t (11.8 %)	28.2 %
	総資源化量	10,568 t(11.2 %)	18,764 t (21.7 %)	20,021 t (26.6 %)	6.7 %
熱回収量	熱回収量 (年間の発電力量)	16,470 MWh	15,122 MWh	14,635 MWh	
減量化量	中間処理による減量化量	67,034 t(71.0 %)	60,702 t (70.1 %)	48,136 t (64.0 %)	-21 %
最終処分量	埋立最終処分量	22,544 t(23.9 %)	15,514 t (17.9 %)	13,059 t (17.4 %)	-16 %

※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

(生活排水処理)

指標	現 状 (平成16年度)	目 標 (平成23年度) A	実 績 (平成23年度) B	実績B /目標A	
総人口	187,149 人	186,347 人	187,321 人		
公共下水道	汚水衛生処理人口	171,484 人	175,383 人	177,153 人	1.0 %
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	91.6 %	94.1 %	94.6 %	0.5 %
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	0 人	0 人	0 人	0.0 %
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0 %	0 %	0 %	0.0 %
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	3,243 人	2,990 人	3,184 人	6.5 %
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	1.7 %	1.6 %	1.7 %	6.2 %
未処理人口	12,422 人(6.6 %)	7,974 人(4.3 %)	6,984 人	-12 %	

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	有料化の実施	苫小牧市 安平・厚真行政事務組合	ごみの減量化等を目的に、家庭系の燃やせるごみ、燃やせないごみの有料化を検討	H17～H22	家庭ごみの有料化に関する条例改正を平成24年2月（安平・厚真は3月）議会で可決、平成25年7月から実施する。
	12	集団回収の促進	東胆振地域各市町	苫小牧市で奨励金制度の充実・見直しの検討を行うなど、地域内各市町で集団回収の拡充に努める	H17～H22	<p><苫小牧市> 集団回収活動の活性化及びごみの減量と資源物の有効活用の促進を図るため、平成19年11月にリサイクルハウス設置助成事業を、平成20年4月に資源回収奨励金制度を実施した。</p> <p><安平・厚真町> 従来より、小学校・中学校・高等学校・子ども会を中心に、古紙等の廃品を集めて古物商等に引き渡す活動を定期的実施している。</p>
	13	ノーレジ袋運動の推進	苫小牧市	レジ袋の減量化を目指し、連絡会議を設立し、意識調査などを実施	H17～H22	<p>ごみの減量化や資源の有効活用を目指し、レジ袋の無料配布中止・有料化の実施について、市内スーパー等の事業者、消費者協会、苫小牧市の三者による「環境にやさしいライフスタイルの確立に向けたレジ袋削減に関する協定」を平成20年5月締結した。</p> <p>現在の締結実績は7事業者、23店舗となっている。</p>
	14	生ごみの堆肥化	安平・厚真行政事務組合	現在、実施している生ごみの堆肥化を継続して実施	H17～H22	民間業者の処理施設で堆肥化処理を継続して実施している。
	15	生ごみの減量化	苫小牧市	生ごみの減量化、資源化を図るため、ダンボールコンポストの普及に努める	H17～H22	生ごみの減量化に向けダンボールコンポストの出前講座実施やモニターに対し資材提供を行い普及活動を実施した。また、生ごみ堆肥化容器及び電動生ごみ処理機の購入助成の継続、平成24年4月から電動生ごみ処理機の無料貸し出し制度（モニター）を実施している。

	16	意識啓発・環境教育の推進	東胆振地域各市町	各種事業を通じ住民の意識啓発を図り、ごみの減量化、リサイクルに資する	H17～H22	<p><苫小牧市> 幼児から高齢者まで幅広い市民、企業市民に対し出前講座を実施、小・中学生に対しては副読本を作成・配布する等で環境教育を行っている。</p> <p><安平・厚真町> 平成20年度より、構成町広報紙に「組合のページ」を年に3～4回掲載（ごみの排出量・リサイクル率推移、ごみ分別する上での注意事項など）、ごみ処理施設等の見学、子供たちやお年寄り向けの講座を実施している。</p>
	17	事業系廃棄物の減量化対策	苫小牧市	ごみの減量化のため、上質古紙のリサイクルを図るなど、事業所の分別意識を啓発	H17～H22	<p>上質古紙リサイクル推進会議を設置し、事業系の上質古紙を回収して、リサイクル推進を行っている。</p> <p>平成23年度に事業者向けの分別パンフを作成。また、平成25年の家庭ごみ有料化を踏まえ事業系廃棄物処理料金の改定を検討している。</p>
	18	生活排水対策	東胆振地域各市町	現在進めている公共下水道や合併浄化槽の普及を図る	H17～H22	<p>平成24年度より浄化槽設置整備事業を実施し、下水道計画区域以外への合併浄化槽の整備を進める。</p>
処理体制の構築、変更に関するもの	21	分別収集品目の拡大	苫小牧市 安平・厚真行政事務組合	循環型社会形成のための容器包装廃棄物の分別収集拡大の検討を実施	H17～H22	<p>平成22年度よりプラスチックの分別収集を開始しており、さらに平成25年7月より紙類の分別収集を開始する。</p>
	22	家庭ごみ収集運搬業務の全面民間委託	苫小牧市	効率的なごみ処理のため、収集運搬業務を全面委託	H17～H22	<p>平成22年度までに、プラスチック収集以外は全面民間委託したが、平成23年度より、プラスチック収集も市内西部地区を民間委託し、今後も全面委託に向けて検討していく。</p>

処理施設の整備に関するもの	1	一般廃棄物埋立処分場整備	苫小牧市	既存施設の満了に伴い、既存施設の隣接地に処分場を整備する	H17～H22	平成20年度末に完成し平成21年度より供用開始している。
	2	合併浄化槽整備	厚真町	公共下水道が整備されていない人口散在地域等に合併浄化槽の整備を進める	H17～H22	公共下水道が整備されない人口散在地に住宅を中心として浄化槽整備を145基実施した。
	3	ストックヤード整備 (焼却施設解体含む)	安平・厚真行政事務組合	資源ごみの分別数増加に対応した処理体制確保に向け、ストックヤードを整備する	H17～H22	平成21年度に旧焼却施設解体工事实施、平成22年度にストックヤード施設整備を実施した。
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	1の計画支援	苫小牧市	一般廃棄物埋立処分場整備事業に係わる地質調査・設計等調査事業	H17～H22	地質調査・設計調査により処分場整備を実施した。
	32	3の計画支援	安平・厚真行政事務組合	ストックヤード整備事業に係わるダイオキシン類等事前調査・基本設計・実施設計業務	H17～H22	平成20年度にダイオキシン類等事前調査・基本設計、平成21年度に実施設計業務それぞれ実施した。
その他	41	廃家電のリサイクルに関する普及啓発	東胆振地域各市町	家電リサイクル法に基づく処理の普及啓発	H17～H22	ごみの分別ガイド等処理方法を掲載や広報で定期的に啓発している。
	42	不法投棄対策	東胆振地域各市町	分別区分の徹底とパトロールの強化、他市町村の防止対策調査・研究	H17～H22	<p><苫小牧市> 植苗・美沢地区を中心にパトロール員を配置しているが、平成25年度に専用ダイヤルを設け、不法投棄110番の開設、またパトロールを夜間・休日に拡充することも検討している。</p> <p><安平・厚真町> 広報で定期的に周知し、安平町では「環境マスター」(13人)で町内巡回等を実施している。</p>
	43	災害時の廃棄物処理に関する事項	苫小牧市	災害廃棄物処理計画(案)の策定検討	H17～H22	計画の早期策定に向けて鋭意検討中である。

3 目標の達成状況に関する評価

発生抑制、再使用の推進に関しては、苫小牧市・安平町・厚真町において平成25年7月から家庭ごみ有料化が施行されることや、ごみの減量化及びリサイクルに対する市民意識の啓発を推進するため、出前講座やイベント、パンフレットの作成・配布など、周知活動を行った。その外の施策についても概ね達成されており、今後も引き続き取り組み実施、新たな取り組みを行っていく予定である。また、生活排水対策は、苫小牧市において汚水処理人口普及率は非常に高い水準であるが、下水道計画区域外を対象に平成24年度より浄化槽設置整備事業を実施し、生活排水の適正処理の推進や生活排水による環境負荷の低減など普及啓発を図っていく。

処理体制の構築、変更に関しては、平成22年度よりプラスチックの分別収集を開始し、さらに平成25年度より紙類の分別収集開始と分別収集品目を拡大予定している。家庭ごみ収集業務の民間委託については、プラスチック収集以外は全面委託し、プラスチック収集についても順次委託拡大を行っている。今後も全面委託に向けて取り組んでいく。

処理施設の設備に関しては、一般廃棄物埋立処分場においては、計画通り平成21年度に供用開始し、平成21年度で約4,245 t、平成22年度で約3,886 tを埋立しており、順調に廃棄物の処理を行っている。その外の施策については概ね目標を達成されている。

施設設備に係わる計画支援に関しては、地質調査及び設計調査による一般廃棄物埋立処分場を整備し、平成20年度にダイオキシン類事前調査及び基本設計、平成21年度に実施設計業務を実施して、目標を達成した。

その他に関しては、不法投棄対策では、概ね目標を達成した。今後も引き続きパトロールの強化等、防止策を講じていく必要がある。また、災害廃棄物処理計画の策定については早期策定に向けて引き続き検討を行う。